

個別の教育支援計画（〇〇立〇〇中学校）記入例

A - 1

A 生徒に関する記載

平成〇〇年度～ 年度

初回記入年月日 平成〇〇年〇月〇日

初回記入者氏名（ 〇〇 〇〇 ）

〇本人にかかわる基本事項

ふりがな 生徒氏名	〇〇 〇〇		性 別 ()	生年月日 平成〇〇年〇月〇日
出身小学校	〇〇立 〇〇 小学校 電 話 ()			
生徒住所	〒 —			
保護者氏名 (続 柄)	〇〇 〇〇 (父)		連絡先 緊急連絡先	(自宅) 〇〇〇-〇〇〇〇 (母親職場) 〇〇〇-〇〇〇〇
保護者住所	〒 —			
家 族 構 成	続 柄	氏 名	職業・学校等	その他特記事項 父親は平成〇年から単身赴任中
	父	〇〇 〇〇	〇〇会社	
	母	〇〇 〇〇	〇〇会社	
	姉	〇〇 〇〇	高校〇年生	
担任氏名	1 年 〇〇 〇〇	2 年	3 年	
医療機関			診 断 等	
通院の有無 [(有) ・ 無] 医療機関名：〇〇病院〇〇科 主 治 医：〇〇〇〇 Dr 電 話： ()			医師による診断の有無 [(有) ・ 無] 診 断 名：自閉スペクトラム症 診断年月：平成〇〇年〇月 手 帳：無し	
通院の状況：平成〇年〇月に幼稚園の勧めで受診。現在は不定期に通院している。			服薬の状況：調子が悪い状況が続くときには、不安や緊張、興奮などの精神症状を改善する薬を処方されている。(薬名〇〇〇〇〇)	
生育歴・療育・教育の状況等				
生 育 歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 歳児検診…〇〇病院で受診し、言葉の遅れがあり、言語指導を開始。 ・ 〇〇幼稚園…4 歳で入園。4～5 歳の頃は、パニックが時々あり、集団活動への参加が難しかった。6 歳で「広汎性発達障害」「ADHD の疑い」の診断を受ける。個別支援を受けながら、集団活動に参加できる場面も増える。 ・ 〇〇小学校…通常の学級に在籍。こだわりが強く、周囲とのトラブルが時にある。4 年生まで〇〇療育センターで月 2 回言語指導を受ける。6 年生のとき、「自閉スペクトラム症」と再診断を受ける。 			
関 係 機 関	療育機関			
	支援機関			
	そ の 他	小学校 2 年生からスイミングスクールに週 1 回通っている。 スクールカウンセラーに月 1 回程度、担任や保護者が相談できるようにしている。		
検査結果等	WISC - Ⅲ (〇〇病院, 平成〇年〇月〇日実施) 全 IQ = 〇〇 VIQ = 〇〇 PIQ = 〇〇			

生徒氏名 (○○ ○○)

○保護者・小学校等からの引き継ぎ事項

本人の特徴にかかわること（性格，得意なこと，苦手なこと等）			
小学校から	<ul style="list-style-type: none"> ・マイペースで，自分の意に沿わないことには取り組もうとしない。 ・昆虫に興味があり，知識が豊富である。 ・持ち物の整理が苦手で，忘れ物をすることが多い。 	保護者から	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなことにこだわりやすい性格である。 ・プールが好きで，小学校の時からスイミングスクールに通う。 ・小さい子どもの泣き声や騒々しい音などは苦手である。
現在までの様子及び支援（◎小学校，○保護者，※他の機関からの引継・連絡事項も含む）			
	本人の様子	今までの支援・現在行っている支援	
学習	◎（国語科）人前で本読んだり，意見を発表したりすることを嫌がる。 ◎（体育科）ゲームなどで勝ちにこだわってルールを守らずトラブルになる。	◎（国語科）授業で指名するときには，事前に本人の了承をとったり，約束をしたりしておく。 ◎（体育科）ゲーム開始前のルールや負けた場合の態度や対応の仕方について個別に確認する。	
生活	行動	◎友達と協力できず，自分本位で行動してしまい係や当番の仕事をしなかったり，トラブルになったりすることがある。	
	対人	◎友達との会話がほとんどなく，自分から要求や思いを伝えることができない。	
	その他	○小さい子どもの泣き声や大きな音が聞こえると，かんしゃくを起こすことがある。	
将来の生活・現在の生活についての希望（将来◎・現在○）			
本人	◎大学に行きたい。 ○英語科の勉強を頑張りたい。 ○水泳部に入って，水泳を続けたい。	保護者	◎就職して，自立してほしい。 ○嫌なことがあっても，気持ちをコントロールして学校生活を送ってほしい。 ○いろいろな友達や先生とコミュニケーションがとれるようになってほしい。

B 支援に関する記載（個別の指導計画を含む）

平成〇〇年度

生徒学年・氏名：1年・（ 〇〇 〇〇 ）

記入年月日 平成〇〇年〇月〇日

記入者氏名（ 〇〇 〇〇 ）

支援の目標（長期目標◎・短期目標○）

- ◎学校生活や家庭生活の中で自分のもつ役割に主体的に取り組むことができる。
- （1学期）学級の中で任された自分の係や当番活動に自発的に取り組むことができる。
- 家庭での手伝い（風呂掃除）を毎日する。
- ◎教師や友達に自分の考えや思いを言葉で伝えることができる。
- （1学期）教師や友達からの問いかけに応じて、自分の意思を伝えることができる。

支 援 内 容

			課 題	具体的な配慮・対応・支援策
学 校	学 習		・（１学期）ペア学習やグループ学習の際に、教師や友達から問いかけられたことに答えることができる。	・ 本生徒が答えやすい質問の仕方のモデルを示したり、ペアやグループの生徒に質問の仕方の助言をしたりする。 ・ 相手に自分の意思を言葉以外の方法でも伝えることができれば称揚する。
	生 活	行 動	・（１学期）学級の係や当番活動に自分から取り組むことができる。	・ 本人が一人でできる仕事を担当するように働きかけ、係や当番活動をする日を確認し、スケジュール表に記入するよう促す。 ・ 係や当番ができたときは、みんなの前で褒める。
		対 人	・（１学期）教育相談の時間に、教師に自分の考えや思いを言葉で伝えることができる。	・ 本生徒との信頼関係をつくるため、教育相談の時間を週に１回、放課後に設定する。 ・ 受容的な雰囲気大切に、リラックスして話ができるようにする。
		そ の 他		
家 庭			・ 家庭での手伝い（風呂掃除）をする時刻と手順を本人と確認して、毎日取り組むことができるようにする。	
関係機関			・ スクールカウンセラーが月に１回程度、担任や保護者からの相談を受けることを継続する。	

生徒氏名：1年（ ○○ ○○ ）

支援会議等の記録

〔日時〕 ○年○月○日	〔参加者〕 教頭，主幹教諭，特別支援教育コーディネーター，生徒指導主事，学年主任，学級担任，養護教諭	〔協議内容，確認事項等〕 実態把握と必要な支援について 【実態把握】 ・小学校からの引き継ぎ事項 ・保護者からの聞き取り事項 ・入学後から現在までの様子 【必要な支援】 ・行動及びコミュニケーション面の支援 ・スクールカウンセラーへの相談の継続
〔日時〕 年 月 日	〔参加者〕	〔協議内容，確認事項等〕
〔日時〕 年 月 日	〔参加者〕	〔協議内容，確認事項等〕
〔日時〕 年 月 日	〔参加者〕	〔協議内容，確認事項等〕
〔日時〕 年 月 日	〔参加者〕	〔協議内容，確認事項等〕

支援内容の評価

記入年月日 平成 年 月 日		記入者氏名 ()	
----------------	--	-----------	--